

とちぎデザイン大賞 2024

応募を検討している方へ

とちぎデザイン大賞や栃木県優良デザイン（Tマーク）事業の内容、
応募用紙の記載方法等を説明いたします。

とちぎデザイン大賞への応募を検討されている方は、ご一読ください。



栃木県優良デザイン（Tマーク） ・ とちぎデザイン大賞とは

【栃木県優良デザイン（Tマーク）、とちぎデザイン大賞の概要】

栃木県優良デザイン（Tマーク）事業は、県内中小企業等が新たに製造した商品・パッケージを募集し、「栃木県優良デザイン（Tマーク）」として認定することを通じて、県内中小企業等の商品価値開発を支援し、ひいては豊かな県民生活の実現を目指す取組です。

そのうちの特に優れたものをとちぎデザイン大賞として選定しております。

平成元（1989）年度の事業開始から延べ500件以上を栃木県優良デザイン（Tマーク）として選定しております。

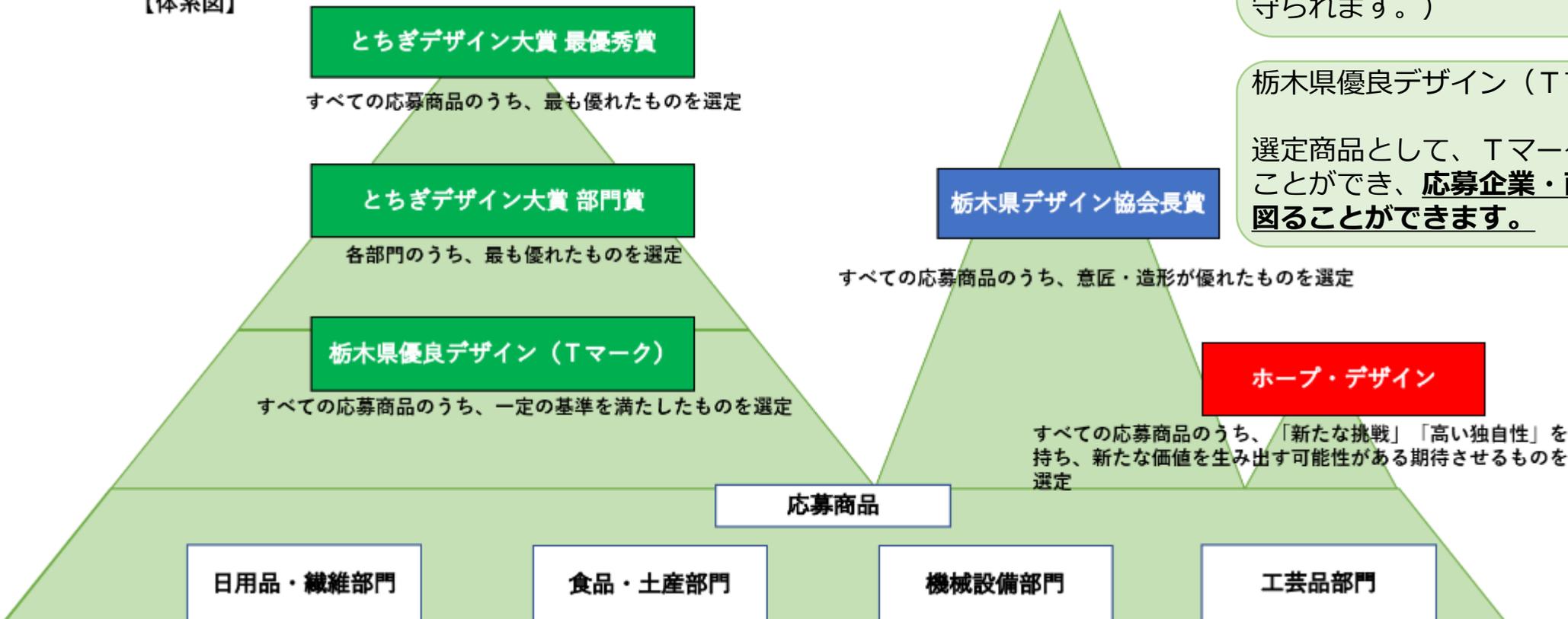
栃木県優良デザイン（Tマーク）に応募すると

応募賞品について、審査員による外部評価を受けることができ、評価コメントを受け取ることができます。（審査会は非公開で、応募賞品の情報は守られます。）

栃木県優良デザイン（Tマーク）に選定されると

選定商品として、Tマークを該当商品に表示することができ、応募企業・商品のイメージアップを図ることができます。

【体系図】



デザインとは（公財日本デザイン振興会より）

【デザインとは？】

「常にヒトを中心に考え、目的を見出し、その目的を達成する計画を行い実現化する。」

この一連のプロセスが「デザイン」であり、その結果、実現化されたものを我々は「ひとつのデザイン解」と考えます。

（引用：公益財団法人日本デザイン振興会HP（公益財団法人日本デザイン振興会））

【デザインの変遷】



主な出来事	戦後の復興	国際化	バブル経済の崩壊	インターネットの普及	SNS・クラウド技術の普及
デザインに求められるもの	高い品質	生活の質の向上	ユニバーサル、エコロジー等	生活者の視点	人々と社会・周辺をつなぐ役割

（参考：GOOD DESIGN AWARD（公益財団法人日本デザイン振興会）

URL:<https://www.g-mark.org/learn/gda/history>）

【とちぎデザイン大賞における良いデザインとは】

「県民の暮らし」を、より豊かにする『はたらき（効果/効用）』を持つ商品

【背景】

戦後、日本のものづくりは顧客の高い要求水準に応えながら、高品質や高技術を誇る商品を生み出し、発展していきました。

そして、技術革新、ライフスタイルの変化が進む現在においては、顧客や市場ニーズは多様化し、**真にユーザーが欲する製品・サービスは何か**という観点で思考するものづくりが重要となっています。

【とちぎデザイン大賞】

とちぎデザイン大賞では、ユーザー（県民）の視点に立ち、気づいた**ユーザーの課題に対して、商品にどのような解決策を与え、ユーザーにどのような効果をもたらしたか、一連の創造活動を「デザイン」として**しています。つまり、製品の外見の美しさ（意匠）の観点だけでなく、多様なユーザーニーズを捉え、コンセプトを設計し、最適な製品を生み出すための活動をデザインと捉えています。

とちぎデザイン大賞等を表彰することを通じて、**豊かな県民生活の形成に寄与する商品**の更なる開発を応援し、本県産業の振興を目指します。

とちぎデザイン大賞における過去の受賞商品

H30(工芸品)

kamacco
株式会社つかもと



益子焼の一合炊の土鍋。
内蓋でお米とお水を計量し、火にかけると簡単に炊飯できる土鍋。

概要 (評価ポイント)

水加減や火加減の調整が難しい土鍋炊飯ですが、これ一つで計量・炊飯・食事が可能で、手軽に土鍋を楽しめます。

R 3(日用品)

フロントガード
株式会社雀宮産業



首にかけるタイプのフェイスシールド。
シールド下部からのウイルス侵入を防ぎます。

概要 (評価ポイント)

首にかけるため、双眼ルーペなどとの併用が可能。航空機部品メーカーで培った独自の技術が活かされています。

R 4 (食品)

**ろまんちっく村の地ビール
「エシカルシリーズ」**
(株)ファーマーズ・フォレスト



地元で生じるパンやブドウの皮などの廃棄原料を使ったビール

概要 (評価ポイント)

廃棄食品に付加価値を与え、消費者がビールを飲むことで、地域の食品ロス問題の解決につながる仕組みを構築。

R 5 (食品)

いろはゆずゼリー
こいしや食品



地域で栽培されるが、未活用であったゆずを使ったゼリー

概要 (評価ポイント)

地域のゆずの有効活用策を、住民や福祉施設等を巻き込みながら、企業のノウハウを活かして実現しました。

次の大賞は…?

【審査項目】

審査項目は、以下の5項目となっております。

審査区分「デザイン」では、デザインの考え方をを用いた商品開発の流れに沿って、下記の3つの観点から審査を行います。

- ①ターゲットと課題の設定
- ②自社リソースを活用した解決方法の提案
- ③産業や暮らしに与える「はたらき」(※)

※「はたらき」とは、対象(商品やサービス)に持たせた「仕事・役割」のことで、その結果としてユーザーに効果・効用・ご利益(ごりやく)を与えるものです。

また、④、⑤では、栃木県の産業や、社会全体(SDGs)に与える商品の「はたらき」がどのようなものか審査を行います。

審査区分	審査項目
デザイン	①ターゲットユーザーが抱える問題を独自のテーマにしているか。
	②設定したテーマを自社のリソースによって適切に解決しているか。
	③解決策が暮らしと産業の発展に寄与しているか。
産業	④栃木県の産業が抱える課題の解決に繋がるものであるか。
社会	⑤「SDGs」のいずれかの項目に該当または目指しているか。

①

②

③

④

⑤



とちぎデザイン大賞応募用紙の記載方法について

応募用紙のうち、記載方法が難しい「3 商品の詳細」「4 産業的視点」「5 社会的視点」について、記載する内容の解説と、より審査員に伝わりやすくするためのポイントを紹介いたします。

【「3 商品の詳細」について】（応募用紙2ページ）

「3 商品の詳細」は、「ターゲットユーザー・ユーザーが抱える問題」「自社のリソースを活用した問題解決方法」「商品が果たす役割」「自由記述」に分かれております。

○「ターゲットユーザー・ユーザーが抱える問題」について

【解説】

審査項目①「ターゲットユーザーが抱える問題を独自のテーマにしているか。」に対応する部分になります。ここでは、商品開発にあたり、どのようなユーザーを対象にしているのか。そのユーザーが抱えるどのような問題を解決しようとしているのか。を書いてください。

【ポイント】

- ・審査員がユーザー像を想像しやすいようになるべく詳細に書かれていますか？
- ・自社ならではの着眼点で問題をとらえていますか？



○ 「自社のリソースを活用した問題解決方法」について

【解説】

審査項目②「設定したテーマを自社のリソースによって適切に解決しているか。」に対応する部分になります。
ここでは、商品開発にあたり、ターゲットユーザーが抱える問題を、自社のリソース（強み）を活かして、どのように解決しようとしているのかを記載してください。

【ポイント】

- ・ 自社のリソースの活用方法は独自性のあるものですか？
- ・ 自社のリソースを活用して行う解決方法は、ターゲットユーザーが抱える問題に対して効果的ですか？

○ 「商品が果たす役割」について

【解説】

審査項目③「解決策が暮らしと産業の発展に寄与しているか。」に対応する部分になります。
ここでは、開発した商品が、ターゲットユーザーの抱える問題・栃木県の「産業」「県民の暮らし」をどのように良くすることができるかを記載してください。

【ポイント】

- ・ 開発した商品は、ターゲットユーザーの抱える問題を的確に解決していますか？
- ・ 栃木県の「産業」「県民の暮らし」を良くする効果がありますか？



【「4 産業的視点」について】（応募用紙3ページ）

【解説】

審査項目④「栃木県の産業が抱える課題の解決に繋がるものであるか。」に対応する部分になります。応募用紙には、①～⑪まで、栃木県の産業が抱える課題を記載しておりますので、該当する番号に丸をつけた上で、**開発した商品が栃木県の産業に与える良い「はたらき」**を記入欄に記載してください。

【ポイント】

- ・ 開発した商品が与える良い「はたらき」は、選んだ項目にとって効果的ですか？

【「5 社会的視点」について】（応募用紙3ページ）

【解説】

審査項目⑤「「SDGs」のいずれかの項目に該当または目指しているか。」に対応する部分になります。応募用紙には、①～⑰まで、SDGsに掲げる目標を記載しておりますので、該当する番号に丸をつけた上で、**開発した商品がSDGsの目標に与える良い「はたらき」**を記入欄に記載してください。

【ポイント】

- ・ 開発した商品が与える良い「はたらき」は、選んだ項目にとって効果的ですか？



ホープ・デザイン

県内中小企業のデザイン開発を活性化させることを目的に、令和4（2022）年度に新設されました。

ホープ・デザインは、審査の点数に関わらず、商品開発における「新たな挑戦」や「高い独自性」を評価し、表彰しようとする取組です。

栃木県優良デザイン（Tマーク）の選定基準に届かない商品であっても、選定される可能性がありますので、奮ってご応募ください。

【ホープ・デザインにおける審査項目】

- ①応募商品の開発に伴い、事業者として、新事業・新分野・新市場・新領域等へ新たに挑戦することとなったもので、今後の工夫次第で栃木県の産業や県民の暮らしに対して、新たな価値を生み出す可能性があると期待させるもの
- ②応募商品の「ターゲットユーザー・抱える問題」「リソースを活用した解決方法」「商品の持つはたらき」が高い独自性を持っており、今後の工夫次第で栃木県の産業や県民の暮らしに対して、新たな価値を生み出す可能性があると期待させるもの

【R4年度ホープ・デザイン】

商品名：THOOK（スーク）
木材を光が透けるほど削り、
薄さの限界に挑戦したことが
評価された
（審査項目①に該当）



商品名：ココノジプラス
老舗の土産物店が、家庭向けの
惣菜製造という新しい分野に挑戦
したことが評価された
（審査項目①に該当）

